

平成18年度一般会計当初予算

147億3,669万4千円

平成十八年度の
予算編成は、

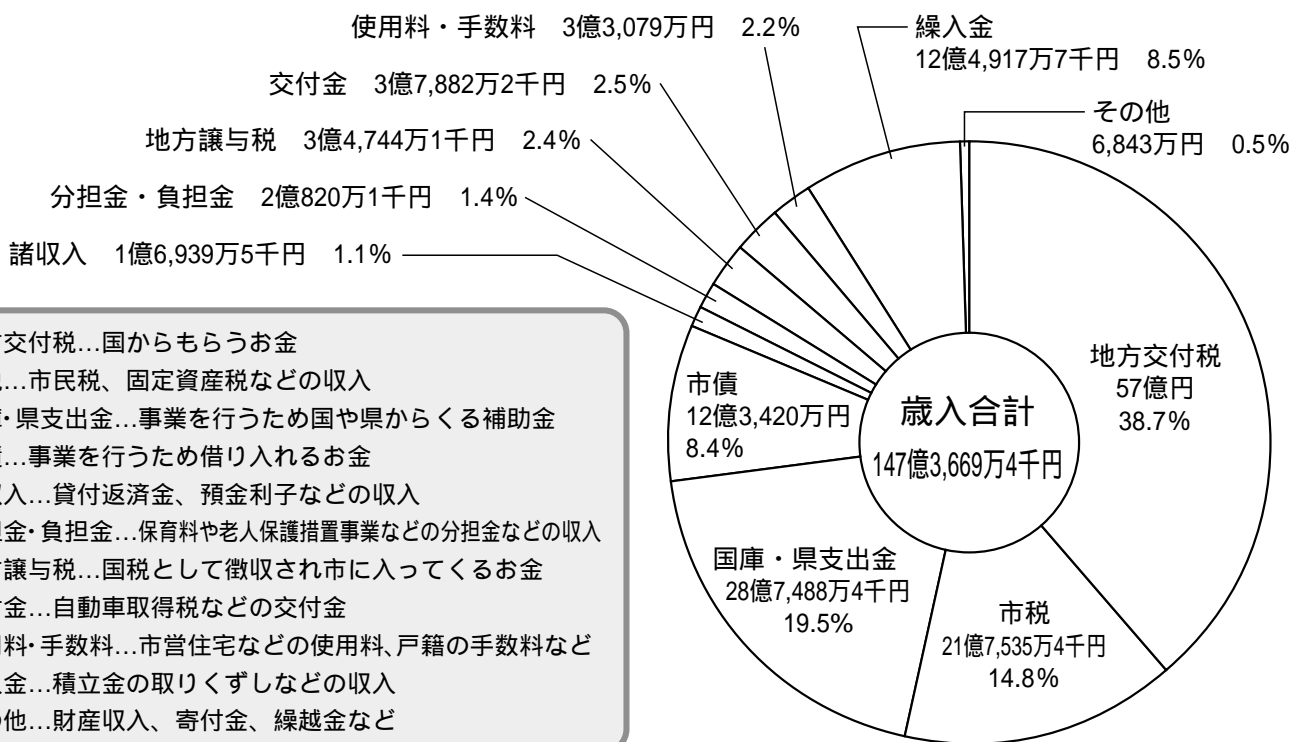
三月一日に香美市が誕生して、初めての通年予算となります。国の進める「三位一体の改革」により、税源移譲による歳入増収は見込まれるものの、国庫支出金の削減・廃止、地方交付税の総額抑制等により、市の財政は合併によるメリット分がありながらもなお厳しい状況に置かれています。その中でも安全で安心なまちづくり、少子高齢化対策を含めた地方福祉施策の充実、資源循環型社会の構築等の環境施策、生活関連社会資本の整備等も着実に進め、より一層の市民福祉の向上のために限られた財源のなか積極的な予算編成に努めました。

歳入

歳入では市税が二十一億七千五百三十五万四千円で地方譲与税は所得譲与税で新たな税源移譲による増収を見込み三億四千七百四十四万一千円となっています。また地方交付税については普通交付税は市制施行による需要額増や合併補正、合併算定替による影響額等をまた特別交付税は合併包括措置分を反映し五十七億円となっています。

市債は、交付税の振替財源としての臨時財政対策債が四億四千三百六十万円となっており、林道整備のための過疎対策事業債である農林水産業債二億二千五百万円等により、総額で十二億三千四百二十万円となっています。

歳入不足を補うための繰入金は、財政調整基金繰入金が八億四千八百九十七万円で、県の合併支援策としての新しいまちづくり基金繰入金が二億六百六十七万円となっています。



- 地方交付税...国からもらうお金
- 市税...市民税、固定資産税などの収入
- 国庫・県支出金...事業を行うため国や県からくる補助金
- 市債...事業を行うため借り入れるお金
- 諸収入...貸付返済金、預金利子などの収入
- 分担金・負担金...保育料や老人保護措置事業などの分担金などの収入
- 地方譲与税...国税として徴収され市に入ってくるお金
- 交付金...自動車取得税などの交付金
- 使用料・手数料...市営住宅などの使用料、戸籍の手数料など
- 繰入金...積立金の取りくずしなどの収入
- その他...財産収入、寄付金、繰越金など

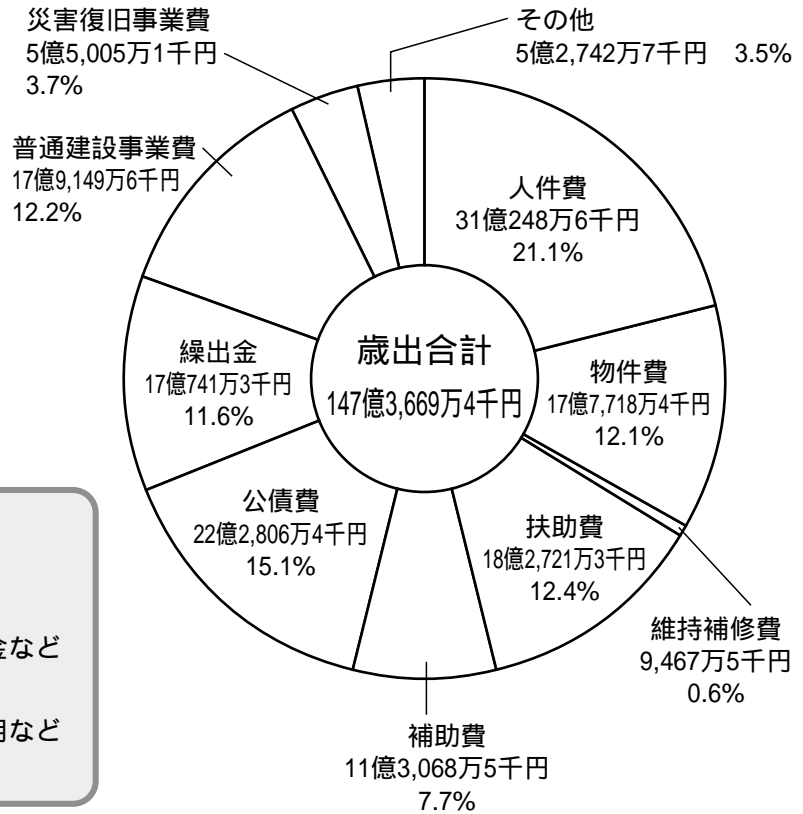
平成18年度特別会計予算

会 計	当初予算額
住宅新築資金等貸付事業	8,392万5千円
簡易水道事業	3億9,161万4千円
水道事業	2億3,182万3千円
工業用水道事業	1,855万1千円
公共下水道事業	5億7,098万6千円
特定環境保全公共下水道事業	2億4,790万8千円
老人保健	56億4,563万3千円
国民健康保険(事業勘定)	38億3,583万8千円
介護保険(保険事業勘定)	25億7,931万1千円
介護保険(サービス事業勘定)	1,683万4千円

歳出を性質別に大別すると義務的経費(人件費、扶助費、公債費)が七十一億五千七百七十六万三千元、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費)が二十三億四千五百五十四万七千円、その他の経費が五十二億三千七百三十八万四千円となっております。また総予算に占める割合は義務的経費が四八・六パーセント、投資的経費が一五・九パーセント、その他経費が三五・五パーセントとなります。








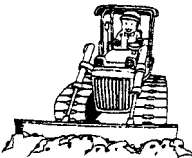


歳出

性質別



物件費.....旅費、需用費など
 維持補修費.....公共施設の維持修繕費
 扶助費.....身体障害者、老人などの扶助
 補助費.....一部事務組合等に対する負担金など
 公債費.....市の借金返済にあてる費用
 繰出金.....特別会計の不足分のための費用など
 その他.....積立金、予備費など

目的別

商工費 1億6,800万4千円 (1.1%) 	農林水産業費 11億348万3千円 (7.5%) 	衛生費 11億1,431万1千円 (7.6%) 	民生費 39億4,721万6千円 (26.8%) 	総務費 17億8,201万6千円 (12.1%) 	議会費 1億3,872万2千円 (1.0%) 
その他 5億2,840万円 (3.6%) 	公債費 22億2,806万4千円 (15.1%) 	教育費 16億8,037万8千円 (11.4%) 	消防費 4億6,074万4千円 (3.1%) 	土木費 10億3,530万5千円 (7.0%) 